

阿蘇には、
神様が
呼んでくれた。

阿蘇薬草園
井澤敏



体の弱かった幼少期。祖母とその茶飲み友だちの「ごてーどん(旦那)の愚痴、漬物の漬け方、薬草の使い方」のお喋りを聞いて育った。興味を引いたのは、薬草のこと。薬草で遊び、使い方を試したり、家伝秘伝を教わりながら知識を身につけた。🍌そして高校卒業後、国鉄(現JR)に就職した時に「阿蘇とうきび」に出会う。その魅力を世に伝えたいと夢を抱き続け、二十一年間勤めた国鉄退職後に、南阿蘇村に薬草園を開いた。これが転機となった。平成の初めのことだ。大病を克服し、「農業化学肥料・除草をしない3NO主義自然農法」で様々な薬草を育て製品化。口コミで全国から薬草講座に人が集まり、薬草の達人と言われるようになる。🍌そこに、熊本地震。薬草園も甚大な被害を受けたが、願いかなって、阿蘇神社門前町商店街に移転した。「南阿蘇より少し寒い気候は、まさに薬草の宝庫」と絶賛。旧女学高跡の裏手に新しい工場も。🍌還暦で人生を振り返りして十余年。七十四歳で三歳の娘を持つ姿に、薬草のちからを感じる。「工場建設後、新たに地元の人や観光客が訪れるサロンを作りたい」と、明るく開放的な店舗で展望を語る。



少年時代の記憶が、 第二の人生を 選ばせた。

蕎麦処 阿蘇の風
上野博行

阿蘇の水で磨いた手打ち蕎麦に、中華風の料理をアレンジした。東京にいたころ知り合った、生まれも育ちも北京の妻と、いっしょに始める店なのだから、そういう特徴でいこうと決めたのだ。「蕎麦と中華? そんなの聞いたことがないぞ」という声には、まあ召し上がってください、驚きと納得を差し上げたい。というのが「阿蘇の風」店主、上野博行さんの主張である。🍌大学は法学部で学び、法律家を目指した時期もあった。思うところあって道を変え、別の意味で世のため人のためとなる職業に就き、定年を迎える。第一の人生をどこで過ごすか。迷わず阿蘇に気持ち傾いたのは、少年時代のボーイスカウトで経験した草原が忘れられなかったからだろう。売りに出ている空き家を見つけた。即決だった。🍌まったくの素人だが、蕎麦屋を始めようと決断する。打ち方からそばつゆの作り方まで、さまざまな師に教えを請い、どうにか手応えをおぼえてスタートしたのは二〇一四年の師走だった。「はじめはどのくらい作ればいいのか見当もつかず、余ってしまったって知人に配って回る日々がつづきました」。🍌日本人にとって特別な食べものでもある蕎麦。震災というつらい体験のなかにあっても、どこか懐かしく癒されるのは、あのツルツル感だろう。

人の力を
信じる。

阿蘇の誇りと実りのブランド

然
zen
A s o C i t y

あるがまま、という貴さ。

人と自然が共作する阿蘇。

然についてのお問い合わせは、

阿蘇市「草・観・然」活性化事業推進会議事務局(阿蘇市観光課)

TEL. 0967-22-3174 / FAX. 0967-22-4566

aso-zen.com

●阿蘇の自然を舞台にした人びとの営みこそ大きな力を持っている、という考えで2013年秋にスタートした「然」。活動の広報として、お一人お一人のポスターを制作しています。

※掲載された内容は取材当時のものです。

今月の主な内容・CONTENTS

- 4 **特集 空き家** 
- 10 まちの話題
- 12 市役所からのお知らせ
- 16 人権作文 長谷野 美希さん
- 17 図書館へ行こう！
- 18 阿蘇医療センター通信 Vol.53
- 19 **くらしの情報**
- 22 子育て支援センター情報
- 23 お慶び ご寄付
- 24 カルデラ暮らし Vol.29
- 25 地産地消クッキング **かんたんロールキャベツ**
フレッシュマン きわたり かれん 佐渡 香恋さん
- 26 3月カレンダー

神奈川県から移住してきた菊池夫妻は空き家バンクを利用して家を見つけた仲良し夫婦。今回は空き家を有効に活用する空き家バンクの紹介や放置された空き家がもたらす危険性などを4頁～9頁で特集しています。



市役所からのお知らせ (12~15)

熊本県知事選挙／4月診療分から子ども医療費助成制度が始まります／住民異動届の手続きは余裕をもって／各種証明書はコンビニで取得できます

くらしの情報 (19~21)

「国の教育ローン」のご案内／4月から施設内では原則屋内禁煙／4月1日から熊本地方気象台の電話窓口が変わります／サイクルステーション協力施設募集／消防団員募集／ガソリン購入時の義務付け／農業委員・農地利用最適化推進委員募集／地域づくり講演会「阿蘇史～地域の宝を語ろう～」／阿蘇エクスプレス増便／手話奉仕員養成講座受講者募集／心配ごと相談／法律相談／あそ若者しごと相談会／年金出張相談／こころの健康相談／障がい者相談／認知症カフェ／電話でお金詐欺

夢を追いかける青少年の声を届けます —

夢を追いかけて

僕の夢は建築士になることです。小学生の時、家を新築した際、建築士の方を中心として、住む人のことを第一に考えながらいろいろな方々が関わり合って家が作られていくのを見ました。たくさんの人々の協力で建てられた家は、一つの芸術作品であることに大きな感動を覚えました。僕もこれから多くの人と関わり、人とのつながりを大切にできる人になりたいと思っています。そのためにも、僕の住んでいる波野地区の伝統芸能のひとつである中江岩戸神楽に参加し、地域や友達とのつながりを持ち続けていきたいです。

岩下 真大

いわした まひろ／波野中学校・3年